

# 2022年度第3四半期 決算補足説明資料

－ 2023年2月6日 －

京王電鉄株式会社

# 業績サマリ

## 2022年度第3四半期実績

- すべてのセグメントで対前年増収となり、営業収益は2,518億円。
- その他業を除く各セグメントで前年と比べて改善し、営業利益は188億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は127億円。
- 対前回予想（第3四半期累計）では、営業収益・営業利益ともにすべてのセグメントで想定を上回り、営業収益は39億円の増収、営業利益は42億円の増益。

## 2022年度通期の業績予想

- 足元の状況を踏まえて業績予想を上方修正。
- ホテル業で宿泊需要が急回復したことなどから営業収益は3,406億円（対前回予想+10億円）営業利益は168億円（対前回予想+19億円）を見込む。
- 助成金等の収入により、経常利益は168億円、親会社株主に帰属する当期純利益は94億円を見込む。

# I . 2022年度第3四半期実績

1. 連結損益計算書
2. セグメント別の概況
3. セグメント情報（運輸業）
4. セグメント情報（流通業）
5. セグメント情報（不動産業）
6. セグメント情報（レジャー・サービス業）
7. セグメント情報（その他業）
8. 営業外・特別損益
9. 連結貸借対照表

## 1. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2022年度第3四半期の業績				
	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減 (増減率)	2022年度 第3四半期 前回予想 <small>(2022.11.4公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
営業収益	2,183	2,518	335 ( 15.3 )	2,479	39 ( 1.6 )
営業利益	41	188	146 ( 353.0 )	145	42 ( 29.5 )
経常利益	77	190	113 ( 145.6 )	146	44 ( 30.4 )
親会社株主に帰属する四半期純利益	30	127	97 ( 322.3 )	90	36 ( 40.1 )
E B I T D A	277	403	125 ( 45.4 )	363	39 ( 10.9 )
減価償却費	232	214	△ 17 ( △ 7.6 )	218	△ 3 ( △ 1.5 )

※EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

## 2. セグメント別の概況（対前年）

- 営業収益はすべてのセグメントで増収
- 営業利益はその他業を除く各セグメントで改善

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益		
	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
運 輸 業	750	834	84（ 11.2）	15	70	55（ 365.8）
流 通 業	728	755	27（ 3.8）	20	29	9（ 47.9）
不 動 産 業	321	365	43（ 13.7）	82	91	8（ 10.4）
レジャー・サービス業	232	362	129（ 55.6）	△ 101	△ 27	74（ —）
そ の 他 業	396	412	16（ 4.1）	29	24	△ 4（ △ 14.7）
連 結 修 正	△ 244	△ 211	33（ —）	△ 3	△ 1	2（ —）
連 結	2,183	2,518	335（ 15.3）	41	188	146（ 353.0）

## 2. セグメント別の概況（対予想）

■ 営業収益・営業利益ともに、すべてのセグメントで想定を上回る

（単位：億円、％）

	営業収益			営業利益		
	2022年度 第3四半期 前回予想 <small>(2022.11.4公表ベース)</small>	2022年度 第3四半期 実績	予想差異（差異率）	2022年度 第3四半期 前回予想 <small>(2022.11.4公表ベース)</small>	2022年度 第3四半期 実績	予想差異（差異率）
運 輸 業	833	834	1（0.1）	67	70	3（4.6）
流 通 業	754	755	1（0.2）	29	29	0（1.8）
不 動 産 業	364	365	1（0.3）	78	91	12（15.6）
レジャー・サービス業	349	362	12（3.6）	△46	△27	19（－）
そ の 他 業	391	412	21（5.4）	16	24	8（51.6）
連 結 修 正	△213	△211	1（－）	△0	△1	△0（－）
連 結	2,479	2,518	39（1.6）	145	188	42（29.5）

## 2. セグメント別の概況（四半期別）

(単位：億円)

	営業収益				営業利益			
	2022年度 第1四半期実績 (4~6月)	2022年度 第2四半期実績 (7~9月)	2022年度 第3四半期実績 (10~12月)	2022年度 第3四半期累計 (4~12月)	2022年度 第1四半期実績 (4~6月)	2022年度 第2四半期実績 (7~9月)	2022年度 第3四半期実績 (10~12月)	2022年度 第3四半期累計 (4~12月)
運 輸 業	275	270	288	834	23	22	24	70
流 通 業	239	241	275	755	7	2	18	29
不 動 産 業	120	102	142	365	30	27	33	91
レジャー・ サービス業	104	111	146	362	△ 15	△ 15	4	△ 27
そ の 他 業	120	133	159	412	4	6	13	24
連 結 修 正	△ 63	△ 67	△ 80	△ 211	0	△ 0	△ 1	△ 1
連 結	797	791	930	2,518	51	42	94	188

## 3. セグメント情報（運輸業）

- 鉄道事業では、コロナ禍以前に比べて輸送人員が減少しているものの、前年同期と比べて回復
- バス事業およびタクシー業においても増収

(単位：億円、%)

	2022年度第3四半期の業績		
	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	750	834	84 ( 11.2 )
（鉄道事業）	484	533	49 ( 10.2 )
（バス事業）	215	238	22 ( 10.5 )
（タクシー業）	72	81	8 ( 11.9 )
（その他）	18	19	0 ( 3.3 )
（消去）	△ 41	△ 37	3 ( — )
営業利益	15	70	55 ( 365.8 )
（鉄道事業）	23	60	36 ( 157.1 )
（バス事業）	△ 7	7	15 ( — )
E B I T D A	152	191	39 ( 26.0 )
減価償却費	136	120	△ 16 ( △ 11.7 )

## 3. セグメント情報（運輸業）

## 鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

		2022年度第3四半期の業績		
		2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
輸送人員	定期	220,789	237,523	16,734（7.6）
	（通勤）	169,364	172,698	3,334（2.0）
	（通学）	51,425	64,825	13,400（26.1）
	定期外	160,815	183,022	22,207（13.8）
	合計	381,604	420,545	38,941（10.2）
旅客運輸収入	定期	19,145	20,003	858（4.5）
	（通勤）	17,240	17,595	355（2.1）
	（通学）	1,904	2,408	503（26.4）
	定期外	26,558	30,421	3,863（14.5）
	合計	45,703	50,425	4,722（10.3）

### 3. セグメント情報（運輸業）

#### 鉄道事業 輸送人員合計 対2018年度同月比の推移



#### 2022年度 鉄道輸送人員（対2018年度比）

(単位：%)

(参考)

	4月	5月	6月	1Q累計	7月	8月	9月	2Q累計	10月	11月	12月	3Q累計	3Q累計 対前年比
定期計	△26.9	△22.5	△22.4	△23.9	△20.1	△23.8	△27.6	△23.9	△21.6	△22.2	△14.3	△22.4	7.6
通勤	△26.3	△26.8	△26.3	△26.5	△24.4	△25.7	△26.3	△26.0	△25.5	△26.2	△19.9	△25.3	2.0
通学	△28.6	△10.0	△11.4	△16.6	△6.5	△15.9	△31.2	△17.4	△9.8	△10.2	4.9	△13.6	26.1
定期外	△13.5	△11.7	△9.8	△11.7	△12.4	△18.6	△13.4	△13.3	△7.3	△11.1	△9.1	△11.9	13.8
合計	△21.5	△18.2	△17.5	△19.1	△17.1	△21.6	△22.0	△19.6	△15.9	△17.7	△12.0	△18.2	10.2

## 4. セグメント情報（流通業）

- 百貨店業では、営業時間短縮や一部店舗における休業を実施した前年同期に比べて改善し、増収
- ストア業では、スーパーマーケット事業で減収となったものの、コンビニ事業の売上増などにより、増収
- ショッピングセンター事業では、2022年3月に開業した「ミカン下北」が寄与したことなどにより増収

(単位：億円、%)

	2022年度第3四半期の業績		
	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	728	755	27 ( 3.8 )
（百貨店業）	202	218	16 ( 8.0 )
（ストア業）	355	362	6 ( 1.9 )
（書籍販売業）	40	35	△5 ( △12.4 )
（ショッピングセンター事業）	104	111	6 ( 6.4 )
（その他）	67	72	4 ( 6.7 )
（消去）	△42	△43	△1 ( — )
営業利益	20	29	9 ( 47.9 )
（百貨店業）	△22	△7	15 ( — )
（ストア業）	10	10	△0 ( △1.5 )
E B I T D A	46	56	9 ( 20.8 )
減価償却費	26	26	0 ( 0.3 )

# 4. セグメント情報 (流通業)

百貨店業 新宿店売上高 対2018年度同月比の推移 (2021年度以降は「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)

(%)



ストア業 売上高 対2018年度同月比の推移 (2021年度以降は「収益認識に関する会計基準」等適用前に換算)

(%)



## 5. セグメント情報（不動産業）

- 不動産賃貸業では、前年同期並みに推移
- 不動産販売業では、分譲マンションや投資用マンションの売上増などにより増収

(単位：億円、%)

	2022年度第3四半期の業績		
	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	321	365	43 (13.7)
（不動産賃貸業）	279	281	1 (0.5)
（不動産販売業）	97	136	39 (40.2)
（その他）	20	24	4 (22.8)
（消去）	△75	△76	△1 (—)
営業利益	82	91	8 (10.4)
（不動産賃貸業）	80	80	△0 (△1.0)
（不動産販売業）	6	12	6 (97.0)
E B I T D A	121	126	4 (4.1)
減価償却費	35	35	△0 (△1.6)

## 6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

- ホテル業では、コロナ禍以前に比べて宿泊需要が減少しているものの、水際対策緩和による訪日外国人旅行客の増加や全国旅行支援の影響などにより、前年同期と比べて稼働率や客室単価が大きく回復し増収

(単位：億円、%)

	2022年度第3四半期の業績		
	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	232	362	129（55.6）
（ホテル業）	197	277	80（40.6）
（旅行業）	28	57	28（101.0）
（広告代理業）	41	50	9（21.9）
（その他）	37	44	6（16.7）
（消去）	△72	△67	5（—）
営業利益	△101	△27	74（—）
（ホテル業）	△85	△19	65（—）
E B I T D A	△69	4	73（—）
減価償却費	32	31	△1（△3.5）

## 6. セグメント情報 (レジャー・サービス業)

ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 売上高 対2018年度同月比の推移



ホテル業 京王プラザホテル (新宿) 客室稼働率の推移



## 7. セグメント情報（その他業）

- 建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収
- ビル総合管理業では、受注増などにより増収
- 車両整備業では、受注減などにより減収

(単位：億円、%)

	2022年度第3四半期の業績		
	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	前年増減（増減率）
営業収益	396	412	16 (4.1)
（ビル総合管理業）	164	169	5 (3.4)
（車両整備業）	57	47	△10 (△18.2)
（建築・土木業）	125	138	13 (10.5)
（その他）	63	68	5 (8.2)
（消去）	△14	△11	2 (—)
営業利益	29	24	△4 (△14.7)
E B I T D A	32	28	△4 (△13.8)
減価償却費	3	3	△0 (△5.9)

## 8. 営業外・特別損益

(単位：億円)

	2021年度 第3四半期 実績	2022年度 第3四半期 実績	増減	増減要因
営業収益	2,183	2,518	335	
営業利益	41	188	146	
営業外収益	58	26	△32	助成金等収入△31億円
営業外費用	22	23	0	
経常利益	77	190	113	
特別利益	37	30	△7	投資有価証券売却益△8億円
特別損失	23	14	△9	固定資産除却損△11億円
法人税等	61	79	17	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	30	127	97	

## 9. 連結貸借対照表

- 総資産は、販売用不動産の取得による仕掛品の増加などにより増加
- 負債は、社債の発行や借入金の増加などにより増加
- 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより増加

(単位：億円)

	2021年度 実績	2022年度 第3四半期 実績	増 減	増減要因
流 動 資 産	1,570	1,633	62	仕掛品 + 140億円
固 定 資 産	7,491	7,550	58	
<b>総 資 産</b>	<b>9,062</b>	<b>9,183</b>	<b>121</b>	
流 動 負 債	2,332	2,152	△179	コマーシャル・ペーパー△200億円、短期借入金 + 59億円
固 定 負 債	3,306	3,509	202	社債 + 200億円
<b>負 債</b>	<b>5,639</b>	<b>5,662</b>	<b>23</b>	
<b>純 資 産</b>	<b>3,422</b>	<b>3,521</b>	<b>98</b>	利益剰余金 + 78億円 (四半期純利益の計上など)
<b>負債及び純資産</b>	<b>9,062</b>	<b>9,183</b>	<b>121</b>	

有 利 子 負 債	3,757	3,839	82
自 己 資 本 比 率	37.8%	38.3%	0.5P

(注) 有利子負債は、借入金 + コマーシャル・ペーパー + 社債により算出している。

## Ⅱ. 2022年度通期の業績予想

1. 連結業績予想
2. セグメント別業績予想
3. 鉄道事業運輸成績

## II. 2022年度通期の業績予想

### 1. 連結業績予想

- 足元の状況を踏まえ業績予想を上方修正し、営業利益は168億円（対前回予想+19億円）を見込む
- 経常利益については、助成金等の収入により168億円を見込む

（単位：億円、%）

	2022年度通期の業績予想				
	2021年度 実績	2022年度 今回予想	前年増減（増減率）	2022年度 前回予想 <small>（2022.11.4公表ベース）</small>	予想差異（差異率）
営業収益	2,998	3,406	407（13.6）	3,396	10（0.3）
営業利益	7	168	160（—）	149	19（12.8）
経常利益	53	168	114（213.0）	135	33（24.4）
親会社株主に帰属する当期純利益	55	94	38（68.3）	64	30（46.9）
E B I T D A	322	461	139（43.3）	444	17（3.9）
減価償却費	311	293	△18（△5.8）	295	△1（△0.6）

## II. 2022年度通期の業績予想

### 1. 連結業績予想（第4四半期予想）

（単位：億円）

	2022年度 第3四半期累計 (4~12月)	2022年度 第4四半期予想 (1~3月)	2022年度 通期予想 (4~3月)
営業収益	2,518	887	3,406
営業利益	188	△20	168
経常利益	190	△22	168
親会社株主に帰属 する当期純利益	127	△33	94
E B I T D A	403	58	461
減価償却費	214	78	293

## 2. セグメント別業績予想

- 鉄道事業で動力費等の費用増を織り込むものの、水際対策緩和による訪日外国人旅行客の増加や全国旅行支援の影響が想定以上に大きく、主にホテル業で宿泊需要が急回復したことなどから、業績予想を上方修正

(単位：億円、%)

		2022年度通期の業績予想				
		2021年度 実績	2022年度 今回予想	前年増減 (増減率)	2022年度 前回予想 <small>(2022.11.4公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)
運 輸 業	営業収益	992	1,108	116 ( 11.7 )	1,106	2 ( 0.2 )
	営業利益	△ 26	35	62 ( — )	40	△ 5 ( △ 14.2 )
流 通 業	営業収益	969	1,011	41 ( 4.3 )	1,009	1 ( 0.2 )
	営業利益	20	27	7 ( 36.7 )	28	△ 1 ( △ 3.9 )
不 動 産 業	営業収益	472	524	52 ( 11.1 )	534	△ 9 ( △ 1.8 )
	営業利益	104	110	5 ( 5.2 )	104	5 ( 5.4 )
レジャー・サービス業	営業収益	329	499	169 ( 51.4 )	486	13 ( 2.7 )
	営業利益	△ 134	△ 36	97 ( — )	△ 59	22 ( — )
そ の 他 業	営業収益	625	633	7 ( 1.3 )	630	2 ( 0.4 )
	営業利益	51	42	△ 9 ( △ 18.2 )	44	△ 2 ( △ 4.9 )
連 結	営業収益	2,998	3,406	407 ( 13.6 )	3,396	10 ( 0.3 )
	営業利益	7	168	160 ( — )	149	19 ( 12.8 )

## 2. セグメント別業績予想（第4四半期予想）

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2022年度 第3四半期累計 (4~12月)	2022年度 第4四半期予想 (1~3月)	2022年度 通期予想 (4~3月)	2022年度 第3四半期累計 (4~12月)	2022年度 第4四半期予想 (1~3月)	2022年度 通期予想 (4~3月)
運 輸 業	834	273	1,108	70	△ 35	35
流 通 業	755	255	1,011	29	△ 1	27
不 動 産 業	365	159	524	91	18	110
レジャー・サービス業	362	137	499	△ 27	△ 9	△ 36
そ の 他 業	412	220	633	24	17	42
連 結 修 正	△ 211	△ 159	△ 370	△ 1	△ 9	△ 10
連 結	2,518	887	3,406	188	△ 20	168

## 3. 鉄道事業運輸成績

## 鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

(参考)

		2022年度通期の業績予想					2018年度実績 (増減率)	
		2021年度実績	2022年度今回予想	前年増減 (増減率)	2022年度前回予想 <small>(2022.11.4公表ベース)</small>	予想差異 (差異率)		
輸送人員	定期	287,659	312,388	24,729 ( 8.6 )	314,012	△ 1,624 ( △ 0.5 )	402,729 ( △ 22.4 )	
	(通勤)	223,662	229,614	5,952 ( 2.7 )	229,895	△ 281 ( △ 0.1 )	309,170 ( △ 25.7 )	
	(通学)	63,997	82,774	18,777 ( 29.3 )	84,117	△ 1,343 ( △ 1.6 )	93,559 ( △ 11.5 )	
	定期外	213,565	244,071	30,506 ( 14.3 )	245,174	△ 1,103 ( △ 0.4 )	275,259 ( △ 11.3 )	
	合計	501,224	556,459	55,235 ( 11.0 )	559,186	△ 2,727 ( △ 0.5 )	677,988 ( △ 17.9 )	
旅客運輸収入	定期	25,195	26,559	1,363 ( 5.4 )	26,664	△ 104 ( △ 0.4 )	35,852 ( △ 25.9 )	
	(通勤)	22,827	23,479	652 ( 2.9 )	23,529	△ 50 ( △ 0.2 )	32,264 ( △ 27.2 )	
	(通学)	2,368	3,080	711 ( 30.1 )	3,134	△ 54 ( △ 1.7 )	3,587 ( △ 14.2 )	
	定期外	35,260	40,585	5,324 ( 15.1 )	40,713	△ 127 ( △ 0.3 )	46,407 ( △ 12.5 )	
	合計	60,456	67,145	6,688 ( 11.1 )	67,377	△ 232 ( △ 0.3 )	82,259 ( △ 18.4 )	

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。